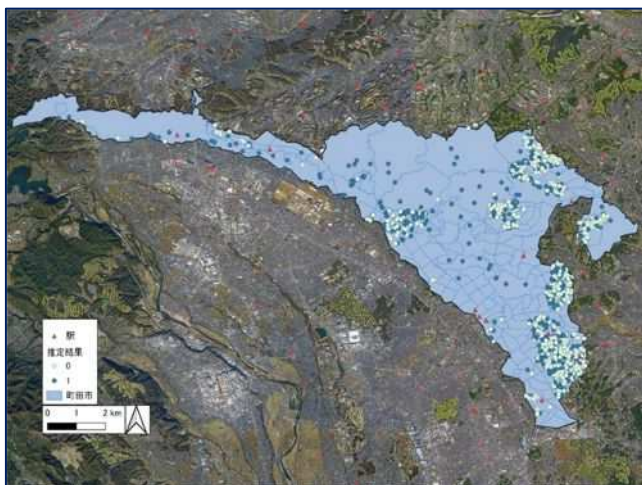


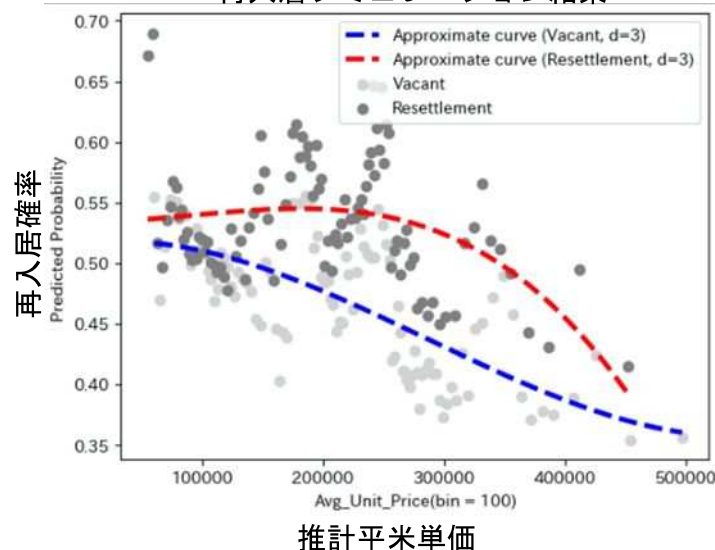
今年度の空き家予測実証実験

空き家流通促進に向けた 再入居予測シミュレーターの構築

再入居予測結果



再入居シミュレーション結果



空き家が流通するまでの期間短縮を目的としています。空き家期間が長いほど流通しにくくなる傾向があり、早期に空き家を流通させることが望ましいです。しかし、立地や価格、設備状況などに応じて、再入居の実態や動向を把握できていないのが現状です。再入居状況を定量化・予測し、流通可能性の高い空き家の把握や空き家所有者へ流通促進に向けた改善提案の実現を行います。

国交省モデル事業の代表事例として掲載！

平均的に販売価格を10%下げると、26%再入居確率が高まる

空き家予備軍・空き家所有者を対象とした 推計所有者意識統計の構築

本事業では空き家予備軍(潜在的な空き家所有者)を含めた、市内全域における推計所有者意識統計の構築を行います。

取組内容

【令和5年度】

- ① 調査実施地域の選定：
対象地域におけるデータ分析、
調査計画、地域選定
- ② 事前所有者意識調査の実施
- ③ 住民向け説明会の実施：
自治会を対象にした住民説明会実施
- ④ 意識調査結果の集計・分析：
意識調査結果の集計・分析、
推計所有者意識統計の構築
- ⑤ 希望者への斡旋：
空き家バンクの事前登録等
- ⑥ 全国展開用推計システムの構築
- ⑦ 成果報告

将来空き家予測等
による地域選定
(空き家予備軍)

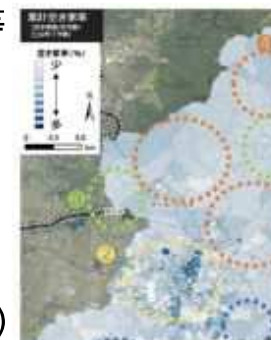


該当地域における
事前所有者意識
調査(約8000世帯)

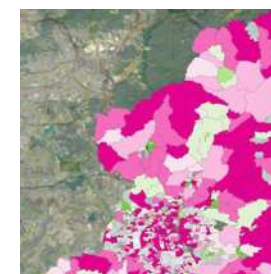


推計所有者意識
統計の構築
(町字単位を想定)

イメージ(右図):
居住意思あり(緑)
居住意思なし(赤)



空き家予備軍分布



推計所有者意識分布

空き家予測による公営住宅DXの展開

東京都の都営住宅に関する公募に採択され、空き家予測による公営住宅の募集斡旋等を実施

日本経済新聞



朝刊・夕刊



LIVE



Myニュース



日経会社情報



人事ウォッチ

トップ 速報 オピニオン 経済 政治 ビジネス 金融 マーケット マネーのまなび テック 国際 スポ

この記事は会員限定です

今月の閲覧：残り1本

都営住宅の空室予測にAI活用 公募効率化で入居者増へ

東京 [+ フォローする](#)

2023年6月26日 5:00 [有料会員限定]

保存



東京都はスタートアップと連携し、2023年度から都営住宅の公募戸数の算定や入居条件の審査に人工知能（AI）を活用する実証実験を始める。AIが入居者の年齢や家族構成などのデータから空き戸数を予測し、公募に反映する。申込者の審査もAIで効率化し時間を短縮する。都営住宅により多くの住民が入居できるようにする。

都が連携するスタートアップは住宅の需給予測などを行うマイクロベース（東京・文

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC2128F0R20C23A6000000/>

- 過去の入退去パターン等を学習し、将来の空き家・空室発生を予測する将来人口動態予測AI『MiraiE.ai（ミラーエドットエーアイ）』を導入し、都営住宅の空室期間の短縮を通じた住宅困窮者への迅速な住宅供給を目指す。
- また、画像認識技術等を活用し、各種申請書類の入居資格審査や住宅割当の業務の自動化・効率化を実現。

PR TIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES

Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティ | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ | ス

マイクロベース、先端技術で街の成長と課題解決を目指す東京都「キングサーモンプロジェクト」に採択

将来空室予測AI『MiraiE.ai』や画像認識技術等を活用し、都営住宅管理DXを推進

マイクロベース株式会社

2023年6月5日 11時17分



マイクロベース株式会社（東京都文京区、代表取締役 仙石裕明）は、東京都が実施する『キングサーモンプロジェクト』に採択されたことをお知らせいたします。都営住宅を実証フィールドに、マイクロベースが開発する将来空室予測AI『MiraiE.ai』や画像認識技術等を用いて、「①入居審査業務の省力化」や「②募集業務の迅速化」に取り組んでまいります。



<https://prt看mes.jp/main/html/rd/p/000000001.000122452.html>

弊社が目指す世界：住宅版GoogleAnalyticsによる住宅・インフラ施策の最適化

Google Analyticsとは

アクセス数やPVなどのトラフィックデータを収集・蓄積し、流入からコンバージョンに至るまでの過程を可視化・最適化・予測が可能

住宅版Google Analyticsとは

住民基本台帳や水道使用量等のマイナンバーやスマートメーター普及により、データ連携、包括的分析・予測が可能

A/Bテストに代表される因果推論（施策効果測定）が可能となり、UI・機能によるサービス最適化を実現

売出・賃貸価格の適正化等や流通施策等の最適化により、空き家流通活発化、空室の解消を実現

